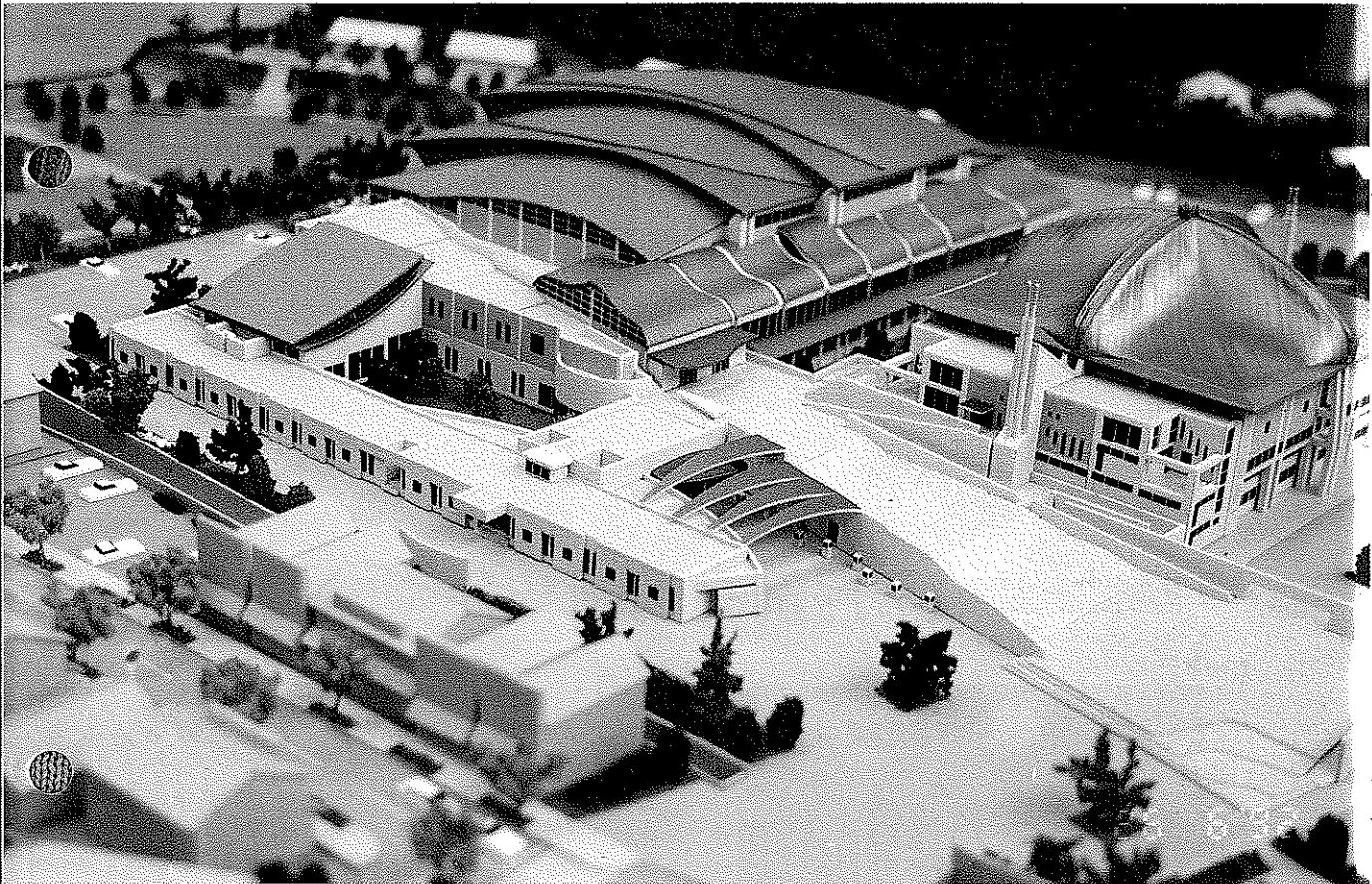




社団法人 長崎青年協会

●本年度スローガン 明日への想像力と独創性 らして共生

長崎県立総合体育館(仮称)完成予定模型



発行/長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 船越 正治
編集/広報委員会
広報委員長 城谷富好

社団法人
長崎青年協会憲章

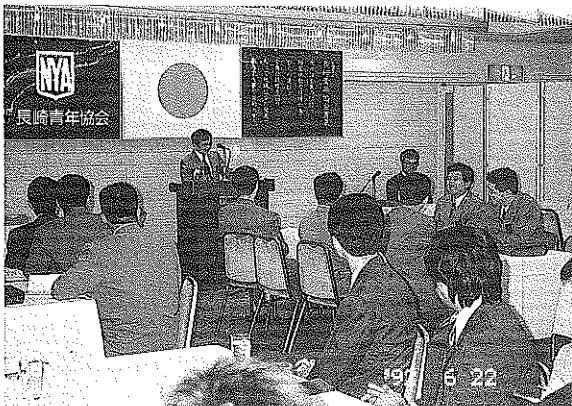
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする



●創立/昭和44年3月1日 ●社団法人設立/昭和59年3月23日

6月定時例会開催

6月22日 於 ホテルニュー長崎

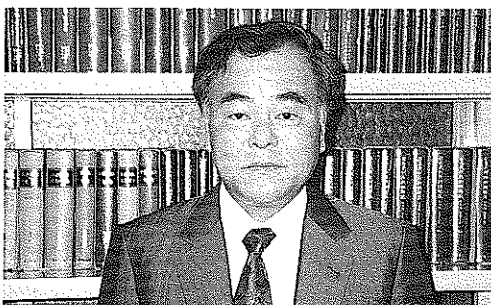


船越会長の挨拶の後、福島卓也氏より「エイズについて」の講演がありました。「エイズ」の原因・症例等をスライドを交じえて解りやすく説明して頂き、我々にとっても決して他人事でないという認識を深める中、会員より多くの質問が殺到し、大変有意義な内容でした。又、今月より例会ではテーマを設け(今月はヨロコビ)、委員会報告の後の辻丸君の心理テストでは、人間の深層心理を鋭く解説してもらい、大変楽しい例会でした。ここで、会員の方に声を大にして言いたい。「もっと例会に参加しよう！」絶対損はさせません。出席率のアップをお願いします。

【委員会報告】

- ・総務委員会 5月26日 長崎県に法人登記手続き終了の報告
- ・国際委員会 「留学生の集い」の広報状況報告
- ・会員交流委員会 6月6日 厄入り懇親会
お疲れ様でした
- 6月28日 ハウステンボス (P6参照)
- ・事業委員会 大好き長崎なるほどセミナー
8月22日～23日
飛帆による体験航海・伊王島
宿泊参加募集(広報ながさき)
- ・地域事業委員会 全体研修 8月29日～30日
湯楽園
- ・会員開発委員会 新入会員 2名入会

7月例会講師紹介



講師 金子寛道先生

職業 弁護士

昭和19年8月8日埼玉県生まれ。小学校より長崎へ移住、早稲田大学法学部卒業後、司法試験を経て昭和53年に弁護士開業、現在興善町に事務所を構え1993年1月29日に行われる「民事介入暴力対策長崎大会」実行準備委員の副委員長として活躍されています。

「民暴」とは

聞き慣れない言葉かもしれませんが、最近映画等で話題となった「ミンボーの女」でおなじみの「みんぼー」です。

この「民暴」とは、民事介入暴力を短く詰めた言い方。「一般市民の日常生活や経済取り引きに、民事上の権利者、関係者の形で介入、関与して、違法、不当な利益の獲得を図る行為」を指します。



青年協会ルーツ探訪③

留学生の集い



第3回留学生の集い

協会も一緒にやりましょう」とのこを受け1988年度(昭和63年度)江村会長のもと、国際交流委員会が誕生したのでした。

そして、その年の7月の16日17日の2日間にわたり留学生と青年協会の会員と市の方の参加のもと「第2回留学生の集い」が開催されました。それに参加した会員の中には、「留学生て言うけん金髪の人を想像しとった。」と言う人が大半でした。それでやっと、会員に長崎の留学生はアジアからの留学生が大半で我々と姿カッコウは余り違わないと言うことを知ってもらえました。そしてその反省として「こんないい集いなのになぜ我々だけの参加なのか」と言うことで第3回目より今の市民参加型の留学生の集いとなったわけです。

その後は年を追うごとに参加者が増え昨年の参加者は留学生123名、日本人参加者181名という大所帯となりました。

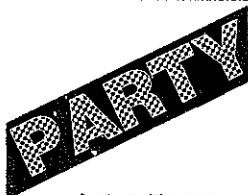
エピソード

第2回留学生の集い
 当時池田副委員長：青年協会が主導的に参加をする、最初の委員会でしたのでまず資金的な面で苦慮し、資金集めの為に奔走しました。

第3回留学生の集い
 当時黄委員長：市民参加型で最初の年であり、何と言っても参加者集めにYMCA、日中友好協会、各大学、短大など十数か所参加依頼に奔走しました。

第4回留学生の集い
 当時山口委員長：留学生を我々日本人と同じ感覚で考えていてなかなか案内したとおり動いてもらえない事に、憤りを感じた自分の力のなさを感じました。

第5回留学生の集い
 当時松尾委員長：佐世保、諫早の方へも声をかけ留学生参加予定者が200名以上にもなり費用捻出に苦慮した。しかし実際は40名ほどの欠員がで人員の把握が出来なかった。



去る6月14日マハラジャに於て「留学生の集い」プレイベントのディスコパーティーが行われました。

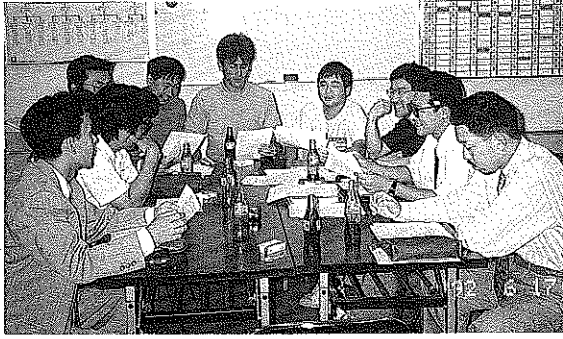


「留学生と市民の集い」参加者募集中

今年も「留学生の集い」の季節になりました。開催要領は下記のとおりです。皆さん奮ってご参加下さい。

日時 7月18日・19日 PM2時～
場所 式見ハイツ

詳しくは、青年協会事務局へ(21-1625番)



和気あいあいとした中で、青年協会スピリットを徐々ではありますが、学ばれたのではないかと感じた委員会でした。

★委員会訪問★

今回は、猿渡卓君の会員開発委員会を紹介します。本年度の新人研修は、新人会員を「留学生の集い」の中での担当分担を行い、新人会員に早く青年協会の雰囲気^{ぶんき}に溶けこんでもらおうという意図で行われています。昼に行われている国際交流委員会と新人の方のパイプ役に徹した委員会に、最初表情の固かった新人会員の方も、最後には

~~~~~ 新人紹介 ~~~~~



下 釜 一 彦 君

昭和34年1月20日生

33歳・A型

勤務先：下釜事務所

一言：生真面目一本!



寺 本 正 弘 君

昭和37年9月17日生

29歳・O型

勤務先：株式会社 平安閣

一言：気合い入れて頑張りますので宜しくお願いします。

同好会だより

＜テニス同好会＞

6月18日第3回テニス同好会が盛大に行われました。初参加の方が、田川(孝)夫妻、森(保)御家族、湯藤君、平山君、上戸君、梅田君と多数いましたが、皆な上達が早く、最後には試合できるまでになりました。



＜ゴルフ同好会＞



6月18日、第2回ゴルフコンペが愛野カントリークラブにて行われました。会員、OB会員12名十特別参加の黄夫人の総勢13名による大会の結果見事優勝したのは、シングルプレーヤーの竹中悟OB。準優勝は前半の貯金がものをいい、渡辺(秀)君。敢闘賞は、OB2名(竹中OB・太田OB)にはさまれた平山幹事でした。平山君、お疲れ様。

NY君

「肩に帆かけて……」
NY君の優雅な失敗談一。

6y

Oriz

(この話はノン・フィクションです) ゴルフ編



僕の自慢の家族 IN ハウステンボス



例会委員会

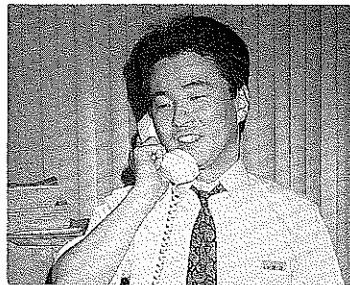
辻丸佳憲君 ご家族

- 妻 恵子 昭和??年10月11日生まれ
 大学時代近くの店でアルバイトをしているかわいい娘。話してみると大学の後輩。しかし卒業の時は先輩になっていたの、今は頭があがらない。
- 長女 祐貴子 9歳
 短距離走とピアノが得意なしっかりもの
- 長男 真太郎 8歳
 短距離走とファミコンが得意な内弁慶
- 次女 祐佳里 5歳
 得意技は今のところ不明のあまえんぼう
- 公私(特に私?)多忙で不在がちのお父さんをそれでも大事にしてくれる、優しい家族です。お父さんは、これからは家族の誕生日をきちんと憶えるようにするそうです。

チヨンガ一列伝 彼女募集自粛中の巻

よく気がつき後からそっとついてくる人が理想の女性という彼は、長崎バス松が枝営業所の主任さん。連日の夜勤で最終バスの運転手さんたちを笑顔で迎え、自分もほっとした様子。今一番の楽しみは月一回のゴルフですが、ボールがいうことをきかず、帰る時はストレスがたまると嘆いています。船越会長、御指導の程よろしくお願ひします。

影の声 甘いマスクの彼は取材中にも二人の女性から電話があり、なかなか、まめまめまめ。結婚の予定は程々にありそうで、その相手は、田中美奈子と千代の富士の合の子だそうです。(こんなことを言ったらトラブルが生じて、広報は一切責任を負いませんので念の為。)



会員交流委員会 渡辺聡君

趣味は一人旅で、九州の中はほとんどまわりました。愛車ブルーバードを駆ってのドライブも一人のことが多かったのですが、最近となりに座る人ができました。給料よりも飲み代の方が多いと時もあるくらいつきあいが多いのですが、新しい歌を憶えるのが辛いのでカラオケはそろそろ卒業しようと思っています。5月に見合いをした人とうまくいっているの、近いうちに結婚できそうです。でもここまで言うと、会員開発の某副委員長さんと一緒に冷やかされませんか。

影の声 卸センターの菓子・食品卸問屋の緑屋で営業事務を一手に引受け、切り盛りする総務部長ではありますが……「何年も前からさがしていた結婚相手が、ようやくみつかった」とノロケの言葉を連発。一見シャイで物静かな彼に「一緒にいて楽しい。ジャズダンスが得意な活発な人」はピッタリなのでしょう。今後は青年協会以外のつきあいをほどほどにして、彼女を大切にしてください。



特別事業委員会 渋谷晃君

ゴチソウサマデシタ

家族懇親会 〈ハウステンボスでの一日〉



〈パレード風景〉



〈パレスハウステンボスの前で〉

六

月28日、待望の家族懇親会が行なわれました。場所もハウステンボスとのことで参加者も二百十六名というこれまでにない大所帯となり、天候にも恵まれ大変楽しい一日となりました。

松本委員長をはじめとする会員交流の皆さん、お疲れ様でした。



〈町並でのショット〉

ある会員の男の子の日記より

『ハウステンボスに行って』

ぼくが楽しみにしていたハウステンボスに行く日が来ました。昨日まで雨だったので、ものすごく心配しました。ふとんから飛びおきると雨はあがっていたのでよかったです。8時15分に長崎駅に来た時はパッチリ晴れていました。おとうさんが『青年協会のおじさん達の心が天の神様に通じたけんぞ』と言いました。車は貸し切りで、しりとりやジャンケンをしておとうさんのお友達の人とも遊びました。おとうさんはビールを2本飲みました。おかあさんが『あんまり飲んだらハウステンボスで歩けんよ』と言いました。着くとボクはビックリし

ました。車でお友達になったユリちゃんも『広かねー』と言いました。外人にたくさん会いました。それからバーベキューを食べました。おとうさんはビールを3ばいも飲んだので顔がまっかになりました。ー<中略>ー 帰りは又汽車でした。おなかがへったので長崎駅でうどんを食べて帰りました。いつもお父さんは家にいない日が多いのでいっぱいお話ができてよかったです。又行きたいと思います。

★長崎県立総合体育館(仮称)完成予定模型(表紙説明)★

今回御紹介するのは、長崎商業高校跡地に平成5年11月完成予定の長崎県立総合体育館(仮称)です。本県初のスポーツ総合施設であり、フロア面積が九州一の広さを誇り(5,002㎡)現在の国際体育館と比べ、メインアリーナに加えサブアリーナ、武道場・スポーツ医・科学室・レストラン、その他が加わり、観覧席も4倍の4,000席に増え多くの人々が観戦できる様になります。県内体育施設のセンター的役割をもち、併せて文化的活動機能を兼ね備えたものとなりそうです。スポーツの生活化・競技力の向上を図っていききたいものです。